



バルトルド・クイケン Barthold Kuijken フラウト・トラヴェルソ

フラウト・トラヴェルソ(バロック・フルート)の名手。共に古楽界の重鎮である二人の兄、ヴィーラント(チェロ及びヴィオラ・ダ・ガンバ)とシグスヴァルト(ヴァイオリン)、そして現代の名だたる古楽演奏家たちとの活動を通じ、今日の古楽の隆盛を築き上げ、世界の古楽を牽引する演奏家の一人である。1949年、ベルギーのブリュッセル近郊に生まれる。モダン・フルートをブルーージュ及びブリュッセル音楽院で学ぶ。二人の兄の影響もあり、古楽器に関心を抱いて独学でリコーダーを演奏するうちに、オリジナルのフラウト・トラヴェルソと出会ったことが彼の運命を決定づけたと言える。博物館や個人コレクションのオリジナル楽器や楽譜等の資料の研究、フルートやリコーダーの製作者たちとの密接な共同作業によって、古楽器による17～18世紀の音楽とその演奏法を探究。フランス・ブリュッヘン、グスタフ・レオンハルトらを筆頭に、ロベール・コーネン、ルネ・ヤコブスら錚々たる演奏家たちや、コレギウム・アウレウムやラ・プティットバンドなどの古楽器オーケストラと共演。同時に、モダン・フルート奏者としても、ブリュッセルを本拠とする現代音楽のアンサンブルに参加するなど、アヴァンギャルドな音楽に関心をもち続けている。アクサン、セオン、ドイツ・ハルモニア・ムンディ、ソニー・クラシカル、ナクソスなどから多数のCDをリリース。ドイツのブライトコプフ社から出版したバッハのフルート作品の校訂楽譜も好評を得ている。2013年には初の著書The Notation is not the Musicをインディアナ大学出版局より刊行(邦訳:『楽譜から音楽へ〜バロック音楽の演奏法』道和本書院、2018)。長年にわたるブリュッセル及びハーグ王立音楽院で教鞭をとり、現在も世界各地で後進の育成に力を注いでいる。



渡邊慶子 バロック・ヴァイオリン

東京藝術大学音楽学部器楽科(ヴァイオリン専攻)を卒業後、オランダに渡り、アムステルダム音楽院にてヤープ・シュレーダーに、また、ハーグ王立音楽院にてシグスヴァルト・クイケンにバロック・ヴァイオリンを師事。「レオンハルト・コンサート」、「ラ・プティット・バンド」、「18世紀オーケストラ」等々、数々の古楽器オーケストラのメンバーとして活躍した。帰国後は、チェロのアンナー・ビルスマをはじめ、内外の名手たちと共演。1991年には「アーカディ音楽祭」その他の招きで渡米し、好評を博した。独奏、室内楽、オーケストラ等、種々の分野で活躍している。



宮崎桃子 バロック・ヴァイオリン

桐朋学園大学卒業、東京藝術大学大学院修了。第28回国際古楽コンクール<山梨>第3位。現在モダンおよびビリオド楽器での演奏活動や録音、指導の他、古楽器体験コンサート、室内楽ワークショップなどの企画・運営にも関わる。ヴァイオリンを鷺見健彰、恵藤久美子、漆原啓子、バロック・ヴァイオリンを渡邊慶子、若松夏美の各氏に師事する他、シグスヴァルト・クイケン、ラインハルト・ゲーベル、ヒロ・クロサキらのマスタークラスを受講。東京バッハ・カンタータ・アンサンブルメンバー。日本女子大学助手。



石井弓奈 バロック・ヴァイオリン

横浜市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科(古楽専攻)及びオランダのハーグ王立音楽院を卒業。これまでにバロックヴァイオリンを渡邊慶子、若松夏美、エンリコ・ガッティ、寺神戸亮、レイラ・シャックの各氏に師事。イタリア第9回ボンポルティ国際古楽コンクール、ファイナリスト。コレギウム・ヴォカレ・ゲントアカデミー生。これまで日本国内でバロックオペラや室内楽コンサート等の公演に多数参加する他、渡蘭後はヨーロッパ各地の古楽フェスティバルにオーケストラやアンサンブルのメンバーとして招待される。オランダ・バッハ協会管弦楽団、ダス・ノイエ・マンハイム・オーケステル、コレギウム・マリアヌム、デュオ・ブディカ等との演奏、CD録音、ラジオ収録に参加。現在オランダ、デン・ハーグ在住。



山根風仁 バロック・チェロ

1996年高知県生まれ。東京藝術大学を安宅賞、アカンサス音楽賞を得て卒業後、英国王立スコットランド音楽院修士課程HIPP(歴史的演奏習慣科)を修了。チェロを上塚幸代、上塚憲一、河野文昭、鈴木秀美、David Watkinの各氏に師事。ヒストリカル・チェロ奏者として、日本、欧州の双方で活動を広げる。国内ではオーケストラ・リベラ・クラシカ、コントラポント等、日本を代表する数々のビリオドアンサンブルのメンバーとして活動。2022年初のオリジナル楽器によるJ.S.バッハの無伴奏チェロ組曲全曲演奏会を行い、好評を博した。今秋より、文化庁海外研修員としてブリュッセル(ベルギー)に本拠を移し、更なる研鑽を積む。



櫻井茂 ヴィオローネ

学習院大学文学部心理学科を経て東京藝術大学卒業。コントラバスを笠原勝二、吉川英幸、西田直文、江口朝彦、ヴィオラ・ダ・ガンバを大橋敏成、ローレンス・ドレフスの各氏に師事。また藝大バッハ・カンタータ・クラブにおいて小林道夫氏の薫陶を受ける。'80年代より「コレギウム・アルジェントゥム」を主宰し古楽器による演奏活動を始め、独奏者として国内各地及びイギリス、アイルランド、ノルウェー、アメリカ、韓国等で活動。またバッハ・コレギウム・ジャパン等多くの古楽アンサンブルにも参加する。東京藝術大学、高知大学、慶応義塾大学非常勤講師を経て上野学園大学准教授、延世大学音楽研究所特別招聘講師。



渡邊順生 チェンバロ

チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノ奏者、指揮者として活躍。論文執筆や楽譜校訂も手がける。アムステルダム音楽院にてグスタフ・レオンハルトに師事、ソリスト・ディプロマおよびブリ・デクセランスを取得。フランス・ブリュッヘン、アンナー・ビルスマ、ジョン・エルウイス、マックス・ファン・エグモントなど、欧米の名手・名歌手たちと多数共演。またCD録音も多数。2006年度、16年度レコード・アカデミー賞に輝く。10年度サントリー音楽賞受賞。19年指揮したモンテヴェルディのオペラ『ポペアの戴冠』で、三菱UFJ信託音楽賞奨励賞受賞。

2022年12月2日 [金] 19:00開演 (18:30開場)

全席自由 5000円

ご予約・お問合せ オフィスアルシュ tel.03-3565-6771 www.officearches.com

チケット取扱い

トッパンホールチケットセンター tel.03-5840-2222 (平日10:00-18:00)

www.toppanhall.com

イープラス https://eplus.jp

東京古典楽器センター tel.03-3952-5515

J.S.バッハ: フルートソナタ全曲 山手プロムナードコンサート第43回
バルトルド・クイケン Ft 渡邊順生 cemb

2022.12.11 [日] 14:00開演 横浜みなとみらいホール 小ホール
チケットぴあ/イープラス 他

後援: 日本チェンバロ協会



交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
館田橋駅 JR総武線(東口) 地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上60][総64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご乗場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
www.toppanhall.com